

## 植物とのふれあい・学び

発行：理学研究科・植物管理室 2017年11月

植物管理室では、園内での活動を中心に、温室や園場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

### フィールドナビ「里山の植物を観察しよう」

(9月9日) 水草の観察と秋の野草の見分け方



園内にて、水草の観察を行った後、山中池に向けて散策をしました。歩きながらハギの仲間の見分け方を学んだり、キキョウ、オミナエシ、ヒヨドリバナなど秋の花を観察しました。

途中、ナンバンキセルやタヌキマメなども見つけました。湿地では、ムラサキミカキグサ、サワシロギク、マアザミなどが確認できました。山中池周辺の土手には、発見の小径ではみられない多くの野草が生育していました。



ドングリの特徴を勉強

(10月21日) 秋の樹木観察とドングリの見分け方

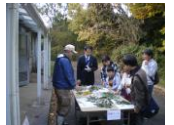
当日は、雨天のため教室にて、ドングリの見分け方を学びました。傘をさして少しだけ樹木観察も行いました。最後に、みんなで手作りドングリ図鑑を完成させました。

### 理学研究科公開(11月4日) 温室の公開と自然体験企画の実施



しめ縄作り、どんぐりストラップ作り、ぶんぶんごま作りなど自然の素材を使った体験を行いました。

大学祭にあわせて行われている理学研究科公開にて、植物園でも施設公開を行いました。毎年この企画を目当てに朝早くから来てくださる方がたくさんおられます。花の苗の無料配布を楽しみにされている方や、毎回、難しい、難しいと言いつつクイズに挑戦される方もいます。大人、子供関係なく、世代をこえて楽しめる所です。「今年も来ましたよ」と元気をかけていただくと非常に励みになります。ぜひ来年もお待ちしております。



植物クイズに挑戦

大温室や樹木園は、大学祭だけでなく、平日でも公開しています。園内はもちろん、発見の小径や山中池周辺に足をのほしても楽しいです。池の近くには遺跡もあります。

### 生態実験園の橋が完成!

発見の小径から生態実験園に通じる橋が、老朽化により通行できず、しばらく仮設橋にて渡っていましたが、11月16日ようやく新しい橋が完成しました。来春からの教養ゼミや観察会において、安心して渡ることができます。ご尽力をいただきました大学関係者の方々には深くお礼申し上げます。



### 栽培実習・秋コース 野菜収穫



植物栽培入門講座は、秋コースを実施中です。9月に種まきを行った野菜は順調に生育し、収穫時期を迎えています。今回は、カブ、チンゲンサイ、ホウレンソウ、ミズナなどを収穫しました。この後は、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリーの収穫になります。



実習の合間に、サツマイモ掘りやたくあん作りなどに挑戦しました。たくあんは、3週間程度で食べられるようになります。



### 附属幼稚園の稲刈り



生態実験園に作られた小さな水田に、多くの生き物が集まってきます。子供たちには、カエルやカマキリ、トンボなどが人気です。オケラやミミズも住んでいます。ここでは一年間を通して、里山の生き物の暮らしを観察することができます。

11月1日に生態実験園にて附属幼稚園・年長組による稲刈りが行われました。今年は、秋の長雨の影響で稲穂が倒れたり、田んぼがぬかるんでいたり大変でしたが、園児たちは泥んこになりながら頑張りました。生物科学科の学生の協力もあり、今年も楽しい稲刈りとなりました。



### 園内の花

#### コウテイダリア *Dahlia imperialis*



キク科

原産地：メキシコ～中米。成長すると3～4mになり、茎が木質化する。別名は木立ダリア。開花期は遅く11月下旬から12月上旬。霜にやや弱い。

### 園内の木

#### コウヤマキ *Sciadopitys verticillata*



コウヤマキ科

常緑高木。日本及び韓国済州島の固有種。和歌山県の高野山に多く見られ、枝は仏事に使われる。樹形の美しさから「世界三大造園木」と呼ばれ、庭木として利用。



【お問い合わせ先】

広島大学理学研究科  
植物管理室

TEL:082-422-7111  
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp